

市数研だより

令和5年6月6日発行 NO. 1 熊本市中学校数学教育研究会

6月の定例会が6月1日（木）に出水南中学校で行われました。参集とZoom配信の両方で開催し、7月の九州数学教育研究大会に向けた授業づくりがありました。

1. あいさつ

市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

定期テストや中体連に向けてお忙しい中にもかかわらず、市数研の定例会に参加いただき、ありがとうございます。今年度は7月に九州数学教育研究大会が控えています。この大会の成功を祈っています。

先日テレビを観ていたところ、1990年代メジャーリーグで右手欠損というハンディキャップを抱えながらも、大活躍したジェームズ・アンソニー・アボット投手の名言が紹介されていました。

「不可能というのはたしかに神が決めるものかもしれない。しかし人間は不可能を可能にする力を持っている。」

この言葉を頭の片隅に置きながら、今年度の九州大会を含め市数研のさまざまな活動に意欲的に取り組んでいければと思います。先生方、1年間どうぞよろしくお願ひします。



2. 九州数学教育研究大会の授業内容の紹介

部会	授業者	責任者
1年A部会	宮崎 浩光先生（錦ヶ丘中）	津田 展良先生（出水中）
1年B部会	末藤 美妃先生（附属中）	澤田 昌宏先生（出水中）
2年A部会	有働 遥香先生（白川中）	古閑 智明先生（西原中）
2年B部会	隈元 大揮先生（錦ヶ丘中）	堀之内 聖二先生（植木北中）
3年A部会	伊藤 竜太郎先生（託麻中）	牧田 朋子先生（花陵中）
3年B部会	野村 優資先生（菊陽中）	畠山 恭輔先生（菊池南中）

それぞれの部会の先生より、授業の紹介がありました。

1年A部会 データの活用

飲食店を評価するアプリを題材にして、生徒たちが活発に議論するような授業展開を考えています。



1年B部会 積の魔方陣

縦・横・ななめの数をかけて一定の答えになるという魔方陣を題材にしています。素因数分解をすることで数を捉えなおして、積の魔方陣の仕組みを探っていくという展開を考えています。



2年A部会 17段の不思議

2段目と17段目の結果から、どのような関係性があるのかを子どもたちが見つけ出し、説明していくという授業展開を考えています。



2年B部会 連立方程式の利用

CTスキャンの仕組みを応用した題材で、ICTをうまく活用しながら授業を進めていきたいと考えています。



3年A部会 二次方程式

ディオファントスの解き方を題材にして、二次方程式の新しい解き方を学び、数学の美しさを実感できるような授業を目指しています。



3年B部会 平方根

A4用紙の中に正方形を作る活動を通して、無理数が循環しない無限小数であることを理解します。そのことを説明する為に、自立的解決の後、班や全体での協働的な活動を通して深い理解を目指します。



3. 研究テーマについて

研究部長（湖東中学校 宮本先生）

研究部長の宮本先生より、九州大会の研究主題の説明がありました。このテーマのもと、九州大会に向けた授業づくりを進めています。

数学的な見方・考え方を働かせ、深い学びに向かう数学授業

～『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業展開の工夫～

4. まとめ

市数研副会長（天明中学校 榎木校長先生）

昨年、新任管理職研修を受けたときに、心に残った言葉があります。それは、映画「みんなの学校」でも話題になった大阪市立大空小学校の木村泰子元校長先生の「学校の当たり前を問い直す」という言葉です。これを数学の授業に置き換えて考えると、子どもの実際の姿から「自分の授業の当たり前を問い直す」ということになります。授業づくりを進めていく中で、内容が盛りだくさんになり、時間が足りなくなるということはよくあります。そこで、自分の中では当たり前に必要なだと思っていた活動を見直してみてください。実は減らしても授業がうまく流れるかもしれません。



九州大会の授業づくりも終盤となりました。附属中学校での最終の事前研の計画を立てていることだと思います。事前研をするときには、ぜひ本番だと思って授業をしてください。教師にとっては事前研でも、子どもたちからするとそれが1回きりの授業です。ここまで積み上げてきたものが、最後にいい形になることを願っています。みなさんでよい九州大会にできるように頑張ってください。

5. お知らせ

数学検定協会の方が、教育委員会と市数研会長のもとへ数学検定の案内をもって来られました。メール便を通して数学主任の先生方へお送りする予定です。それぞれの中学校でご活用ください。

次回の定例会は、**7月13日(木)19時～ 附属中学校**です。

授業づくりと九州大会の役員の係打ち合わせを予定しています。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 城南中学校 椎葉 将大